

東武東上線大山駅付近 立体化促進協議会ニュース

創刊号
H29.12

編集・発行 東武東上線大山駅付近立体化促進協議会
(事務局:板橋区都市整備部都市計画課)

◇ 東武東上線大山駅付近立体化促進協議会を設立しました

● 協議会設立の背景

東京都では、都内の様々な踏切問題を解決するため、平成 16 年 6 月に「踏切対策基本方針」を策定し、板橋区においては鉄道立体化の検討対象区間として、「大山駅付近」と「ときわ台～上板橋駅付近」が抽出されました。

このうち「大山駅付近」は、平成 26 年 9 月に連続立体交差事業の事業候補区間に位置付けられ、平成 29 年 4 月には、国土交通省により着工準備採択を受け、事業化に向けて着実に段階が上がっています。

また、区においても補助第 26 号線の整備や鉄道立体化を見据え、各交通機関への乗り換え利便性の向上等を図るために、駅前広場の検討を進める等駅周辺のまちづくりに取り組んでいます。

こうした中、鉄道立体化の実現に向けた地域の期待が高まっており、平成 29 年 5 月、区民、区議会、区が一体となって、関係機関へ立体化の早期実現に向けた働きかけを行っていくため、東武東上線大山駅付近立体化促進協議会が設立されました。

● 協議会の構成員

会長：坂本健板橋区長

副会長：大野はるひこ板橋区議会議長、松野榮仁大山町会会長

幹事：町会・自治会長、商店街理事長・会長、PTA会長、区議会議員、区職員

会員：区議会議員、区職員

● 協議会の活動方針

一、区民、区議会、区が一体となって、国や東京都、鉄道事業者に対し、東武東上線大山駅付近の立体化の早期実現に向けた要請およびその他必要な活動を行う。

一、東武東上線大山駅付近の立体化の促進や大山駅周辺の整備について、情報の発信など必要な広報活動を行う。

一、本協議会の目的に合致するその他の必要な活動を行う。

◇ 促進大会を開催しました

平成 29 年 7 月 28 日（金）、区立文化会館小ホールにて、本協議会が立体化の機運をより一層高めるために「東武東上線大山駅付近立体化促進大会」を開催しました。

当日は区民や区議会議員など約 200 名が参加し、松野副会長の開会宣言で促進大会がスタート。坂本会長や大野副会長のあいさつや、協議会の活動方針や大山駅周辺のまちづくりの状況などについて説明があり、参加者は立体化の早期実現に向け一致団結し、閉会しました。



△ 大会の様子

◇ 東京都への要望活動を実施しました

平成 29 年 10 月 18 日（水）、本協議会は、東京都への要望活動を行いました。要望事項は以下の 3 点です。

- 一、東武東上線大山駅付近の連続立体交差事業を高架式か地下式化の構造形式にかかわらず、早期実現を図ること。
- 一、連続立体交差事業の推進に必要な財源を確保すること。
- 一、連続立体交差事業にあわせて区が進める大山駅周辺の整備事業に対し、必要な支援を講じるこ

協議会からは、坂本会長、大野副会長、松野副会長が都庁を訪問し、東京都は、西倉建設局長、佐藤都市整備局理事に対応いただき、都知事あて要望書を手渡しました。



△ 西倉局長に要望書を手渡す坂本会長



△ 要望活動に参加した方々

◇ 問い合わせ先